



横浜市立一本松小学校

1月号

学校だより

令和6年1月9日
横浜市立一本松小学校
校長 高桑 透

時代の変化と変わらないもの

校長 高桑 透

新年おめでとうございます。昨年5月より感染症の扱いが5類となり、いろいろな行動制限などがなくなったことで、日常生活に活気もどってきました。学校生活でも同じように、一本松オリンピックや一本まつりなどの学校行事や、宿泊体験学習や社会科見学、さらに様々な講師を招いての特別授業なども行うことができました。特にたくさんの方にご声援をいただいた一本松オリンピックや、子どもたちのためにとご協力いただいた一本まつりについては、改めて子どもたちのためにと、力を発揮していただけることのありがたさを感じました。今年も引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

さて、2024年の干支は「甲辰(きのえたつ)」年です。「辰」は十二支の中でも唯一の空想上の生きものです。辰は「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。過去の辰年の出来事を調べてみると、次のような時代を大きく動かす出来事が、辰年に起こっています。

1964年 東京オリンピック
1988年 青函トンネル、東京ドーム、瀬戸大橋の竣工
2000年 BS デジタル放送の開始
2012年 東京スカイツリーの開業
京都大学の山中教授が iPS 細胞を発見しノーベル生理学・医学賞を受賞

このように考えてみれば、2024年も、時代を大きく動かすような1年になるかもしれません。どのような変化になるかはわかりませんが、より良い時代に加速していくことを願っています。

新しい時代に向かっていくということであれば、学校も同じです。昨年末お知らせし、すでに登録をいただいている「学校と家庭の連絡システム『すぐる』」が本校では明日より、横浜市全体としても4月より導入されます。今まで連絡帳等をお願いしていた出欠連絡をはじめ、学校だより等の配布についても、システムを利用するようになっていきます。

学習についても、同じように変わります。本校では、5、6年の英語でデジタル教科書の利用が始まっていますが、4月よりさらに本格導入への取組が始まり、数年後にはほぼすべての教科書がデジタル化されるでしょう。また、今後の方向性を探るために、漢字ドリルや計算ドリルについても、タブレット端末を使用できるものについて、学年に応じて試行してきます。

様々な取り組みがスタートしていく2024年となりますが、全てにおいて子どもを中心に、より良い方法を選択していくことが大切です。たとえ時代が大きく変わっていくとしても、子どもたちが安心して学校生活を送ることができることを引き続き大切にしていきます。